

パイロットで取り扱う指標の定義一覧
(糖尿病/脳卒中/人工股関節全置換術:THA)

医療の質向上のための体制整備事業

公益財団法人日本医療機能評価機構

"糖尿病" (38指標) 指標定義一覧

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
1 厚労科研 (共通Q1)	2017	外来患者満足度 「a.全体としてこの病院に満足していますか？」	分母のうち「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した外来患者数	2. 分母のうち、「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した患者を分子とする。 (ア) 評価は、「非常に満足している」、「やや満足している」、「どちらともいえない」、「やや不満である」、「非常に不満である」の5段階とする。	外来患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数	1. 外来患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問に回答した患者を分母とする。
2 厚労科研 (共通Q1)	2017	外来患者満足度 「b.診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」	分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した外来患者数	2. 分母のうち、「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した患者を分子とする。 (ア) 評価は、「十分だった」、「まあまあ十分だった」、「あまり十分ではなかった」、「十分ではなかった」、「説明を受けていない」の5段階とする。	外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数	1. 外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問に回答した患者を分母とする。
3 厚労科研 (共通Q1)	2017	外来患者満足度 「c.診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」	分母のうち「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した外来患者数	2. 分母のうち、「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した患者を分子とする。 (ア) 評価は、「十分に伝えられた」、「まあまあ伝えられた」、「あまり伝えられなかった」、「まったく伝えられなかった」、「疑問や意見は特になかった」の5段階とする。	外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問有効回答数	1. 外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問に回答した患者を分母とする。
4 厚労科研 (共通Q1)	2017	血糖コントロール a.糖尿病薬物治療患者の血糖コントロール	分母のうちHbA1cの最終値*1が8.0%未満であった外来患者数	5. 4のうち、調査期間中に自施設で実施された最終のHbA1c値が8.0%未満を分子とする*4*5。	過去1年間に90日以上 of 糖尿病の薬物治療が施行されている外来患者数	1. 調査月間から過去12ヶ月間に患者別に自施設で発行された退院時処方箋別および外来での処方箋別に「別表：血糖降下薬リスト」に該当する薬剤別の処方日数*2を求める。 2. 1を用いて患者別1処方箋別の最長の処方日数を求める。 3. 2を用いて患者別の処方日数の総計を求める*3。 4. 3のうち、患者別処方日数総計が90日以上 of 患者を分母とする。
5 厚労科研 (共通Q1)	2017	栄養指導 a. 糖尿病・慢性腎臓病患者への栄養管理実施率	分母のうち特別食加算の算定回数	6. 分母のうち、特別食加算の算定された回数を分子とする。 (ア) 197000470 特別食加算 (食事療養)	18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数	1. 計測期間において退院した患者を対象とする。 2. 1のうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の患者を対象とする。 3. 2のうち、入院時併存症のICD10コードに以下いずれかが含まれる患者を算出する。 (ア) E10\$ ~ E14\$ 糖尿病 (イ) N03\$ 慢性腎炎症候群 (ウ) N04\$ ネフローゼ症候群 (エ) N18\$ 慢性腎不全 4. 3のうち、主傷病名、入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに糖尿病が慢性腎臓病が該当する患者は除外する。(ICDコードは同上) 5. 対象となった患者に対して、以下レセプト電算コードの算定回数を分母とする。 (ア) 197000110 入院時食事療養 (1) (1食につき) (イ) 197000710 入院時食事療養 (2) (1食につき) (ウ) 197003110 入院時食事療養 (1) (1食につき) (流動食のみを提供) (エ) 197003210 入院時食事療養 (2) (1食につき) (流動食のみを提供)
6 恩賜財団済生会	2019	外来患者の満足度調査	各対象施設における1日間の外来患者から得た有効回答	大変満足：5点、やや満足：4点、3.どちらでもない：3点、やや不満：2点、大変不満：1点		
7 恩賜財団済生会	2019	糖尿病療養指導士一人あたりの外来通院患者総数	糖尿病外来患者数	以下の診療行為が算定されている患者 B00120糖尿病合併症管理料	糖尿病療養指導士 (CDE) 数	評価期間内に当該医療機関に在籍した糖尿病療養指導士 (CDE) の人数で、期間内に辞職した場合は評価期間に対する在籍期間の割合で算定する
8 恩賜財団済生会	2019	糖尿病合併症管理料算定者一人あたりの外来通院患者総数	糖尿病外来患者数	以下の診療行為が算定されている患者 B00120糖尿病合併症管理料	早期リハビリ実施の対象の患者数	月別で、Fファイルに、以下の薬効分類に該当する医薬品が算定されている患者 薬価基準収載医薬品コード396\$の内服 薬価基準収載医薬品コード2492\$の注射 薬価基準収載医薬品コード7桁が2499410,2499411,2499415,2499416の注射
9 国立病院機構	2019	インスリン療法を行っている外来糖尿病患者に対する自己血糖測定の実施率	分母のうち、計測期間中の外来診療において、「C150\$ 血糖自己測定器加算」を算定された患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	糖尿病でインスリン療法を行い、かつ「C101 在宅自己注射指導管理料」を算定している外来患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
10 国立病院機構	2019	外来糖尿病患者に対する管理栄養士による栄養指導の実施率	分母のうち、診療開始日から210日間の外来受診期間において、栄養食事指導を実施した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	外来糖尿病患者のうち、1年間に3ヶ月以上の「D0059 血液形態・機能検査ヘモグロビンA1c」の算定があった患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
11 国立病院機構	2019	外来糖尿病患者に対する腎症管理率	分母のうち、「血清クレアチニンと尿中アルブミン」または「血清クレアチニンと尿蛋白」を測定した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	糖尿病の外来患者数 (透析患者を除く)	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる

	団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
12	国立病院機構	2019	糖尿病患者におけるHbA1c値コントロール率	分母のうち、直近のHbA1c値が8.0%未満であった患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	薬物療法が施行されている糖尿病患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
13	国立病院機構	2019	75歳以上SU剤治療中糖尿病患者における血糖の管理率	分母のうち、HbA1cが6.4%以上の患者	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	75歳以上でSU剤が処方されている糖尿病患者でHbA1c検査が8.0%未満の患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
14	国立病院機構	2019	外来患者における総合満足度	分母となったアンケートにおける全10項目の合計点数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	各対象病院における任意の2日間の外来受診患者を対象としたアンケートのうち、有効回答だったアンケートの数×50点	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
15	全国自治体病院協議会	2019	外来患者満足度	満足のいく治療を受けたと回答した外来患者数	満足・やや満足の回答数	患者満足度の有効回答数（外来）	満足・やや満足・やや不満・不満の回答数
16	全国自治体病院協議会	2019	糖尿病入院栄養指導実施率	2型糖尿病（ケトアシドーシスを除く）退院患者のうち、栄養指導が実施された患者数	2型糖尿病（ケトアシドーシスを除く）の退院患者のうち、栄養指導が実施された患者数 B001-10 入院栄養食事指導料1 B001-11 集団栄養食事指導料 を算定した患者数	2型糖尿病（ケトアシドーシスを除く）の退院患者数	DPCデータ提出病院においては、医療資源病名のICD-10コードがE112～E119 2型糖尿病の退院患者（未梢循環不全の有無は問わない） ※医療資源病名が「疑い」病名の場合を省く
17	全日本病院協会	2019	栄養指導	特別食加算の算定回数		18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数	
18	全日本病院協会	2019	患者満足度（外来、満足度）	分母のうち「①非常に満足、②やや満足、③やや不満、④非常に不満」と回答した外来患者数		実施時期1ヶ月間の外来患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数	
19	全日本病院協会	2019	患者満足度（外来、医師について）	分母のうち「①十分だった、②まあまあ十分だった、③あまり十分ではなかった、④十分ではなかった」と回答した外来患者数		実施時期1ヶ月間の外来患者への満足度調査項目「病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数	
20	全日本民医連	2020	栄養指導 糖尿病・慢性腎臓病患者への栄養管理実施率	分母のうち特別食加算の算定回数		18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数	
21	全日本民医連	2020	糖尿病の患者の血糖コントロール	A) 最終検査値のHbA1cが8.0%未満		A) 半年間で90日以上、血糖降下剤またはインスリンが投与された外来患者数。インスリンは1回30日分でカウントする。（近接診含む）	
22	全日本民医連	2020	糖尿病の患者の血糖コントロール	B) 65歳未満で最終検査値のHbA1cが7.0%未満		B) 65歳未満の半年間で90日以上、血糖降下剤またはインスリンが投与された外来患者数。インスリンは1回30日分でカウントする。（近接診含む）	
23	全日本民医連	2020	血糖コントロール 糖尿病薬物治療患者の血糖コントロール	A) 分母のうちHbA1cの最終値*1が8.0%未満であった外来患者数		A) 過去1年間に90日以上糖尿病の薬物治療が施行されている外来患者数	
24	全日本民医連	2020	血糖コントロール 糖尿病薬物治療患者の血糖コントロール	B) 分母のうち65歳未満で最終検査値のHbA1cが7.0%未満であった外来患者		B) 65歳未満の過去1年間に90日以上糖尿病の薬物治療が施行されている外来患者数	
25	地域医療機能推進機構	2019	インスリン療法を行っている外来糖尿病患者に対する自己血糖測定の実施率	分母のうち、計測期間中の外来診療において、「C150\$ 血糖自己測定器加算」を算定された患者数		糖尿病でインスリン療法「C101\$ 在宅自己注射指導管理料」を算定している外来患者数	
26	地域医療機能推進機構	2019	外来糖尿病患者に対する管理栄養士による栄養指導の実施率	分母のうち、診療開始日から210日間の外来受診期間において、管理栄養指導「B00111 特定疾患治療管理料 集団栄養食事指導料」または「B0019 特定疾患治療管理料 外来栄養食事指導料」が算定された患者数		外来糖尿病患者のうち、1年間に3ヶ月以上のD0059 血液形態・機能検査ヘモグロビンA1c」の算定があった患者数	
27	日本病院会	2019	一般 患者満足度（外来患者） 満足	分母のうち「満足」と回答した外来患者数		外来患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数	
28	日本病院会	2019	一般 患者満足度（外来患者） 満足またはやや満足	分母のうち「満足」または「やや満足」と回答した外来患者数		外来患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数	
29	日本病院会	2019	一般 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c<7.0%	HbA1c(NGSP)の最終値が7.0%未満の外来患者数		糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数(過去1年間に糖尿病治療薬が外来で合計90日以上処方されている患者)	除外： 運動療法または食事療法のみの糖尿病患者
30	日本病院会	2019	一般 65歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c<8.0%	HbA1c(NGSP)の最終値が8.0%未満の65歳以上の外来患者数		糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数(過去1年間に糖尿病治療薬が外来で合計90日以上処方されている患者)	除外： 運動療法または食事療法のみの糖尿病患者
31	日本病院会	2019	一般 糖尿病・慢性腎臓病患者への栄養管理実施率	分母のうち、特別食加算の算定回数		18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数	
32	日本病院会	2019	療養 療養病床における糖尿病患者の血糖コントロール	HbA1c(NGSP)の最終値が8.0%未満の入院患者数		糖尿病の薬物治療を入院で30日以上投与されている入院患者数	除外： 運動療法または食事療法のみの糖尿病患者
33	日本病院会	2019	療養 外来患者満足度 「この病院について総合的にはどう思われますか？」 満足	分母のうち「満足」と回答した外来患者数		外来患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数	
34	日本病院会	2019	療養 外来患者満足度 「この病院について総合的にはどう思われますか？」 満足またはやや満足	分母のうち「満足」または「やや満足」と回答した外来患者数		外来患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数	

	団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
35	日本病院会	2019	療養 外来患者満足度 「診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」	分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した外来患者数		外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数	
36	日本病院会	2019	療養 外来患者満足度 「診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」	分母のうち「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した外来患者数		外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問有効回答数	
37	日本慢性期医療協会	2014	糖尿病患者における血糖コントロール (HbA1C)	HbA1Cのコントロール目標が達成されている患者数[人]		インスリン製剤または経口血糖降下剤を処方されている患者数[人]	
38	労働者健康安全機構	2019	患者満足度(外来)	外来満足度調査における「総合満足度」の項目に対して「大変満足」又は「やや満足」と回答した件数		外来満足度調査における全回答件数	

"脳卒中" (54指標) 指標定義一覧

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
1 厚労科研 (共通Q1)	2017	早期リハビリテーション a.脳梗塞患者への早期リハビリ開始率	分母のうち入院後早期 (3日以内) に脳血管リハビリテーション治療を受けた患者数	5. 分母のうち、入院日を1として、入院後3日以内に「別表：脳血管疾患等リハビリテーションリスト」に該当するレセプト電算コードが含まれる患者を分子とする。	18歳以上の脳梗塞の診断で入院した患者数	1. 計測期間において退院した患者を対象とする。 2. 1のうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の患者を対象とする。 3. 2のうち、入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD10コード「I63\$ 脳梗塞」が含まれる患者を算出する。 4. 3のうち、脳卒中の発症時期が3日以内である患者を算出し、退院時転帰が下記に該当する患者を除外したものを分母とする。 (ア)6 最も医療資源を投入した傷病による死亡 (イ)7 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡
2 厚労科研 (共通Q1)	2017	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率	分母のうち「D299喉頭ファイバースコープ」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数	3. 分母のうち、EFファイルを参照し、計測期間中に以下のいずれかの算定があった実患者を抽出し、分子とする。 (ア) D299 喉頭ファイバースコープ (イ) E0037 造影剤注入手技 嚥下造影	誤嚥性肺炎患者数	1. 計測期間において様式1の主病名、入院契機傷病名、医療資源傷病名、医療資源2傷病名、入院時併存症、入院後発症疾患の項目のいずれかに「J690 固形物及び液状物による肺臓炎 (ただし、「疑い」は除く)」が記載されている退院患者を抽出し、実患者数を分母とする。 2. 1のうち、様式1の「入院時意識障害がある場合のJCS」が20以上の患者は除外する。
3 厚労科研 (共通Q1)	2017	地域連携バス a.脳卒中患者に対する地域連携バスの利用率	分母のうち「地域連携診療計画加算」を算定した患者数	4. 分母のうち、「地域連携診療計画加算」が算定されている患者を分子とする。 (ア) 190192870 地域連携診療計画加算 (退院支援加算) (イ) 113023370 地域連携診療計画加算 (診療情報提供料1)	脳卒中入院した患者数	1. 計測期間において退院した患者を対象とする。 2. 1のうち、入院の契機となった傷病名および医療資源を最も投入した傷病名両方とも、ICD10コード「I6\$ 脳血管疾患」が含まれる患者を算出する。 3. 2のうち、退院時転帰が下記に該当する患者を除外したものを分母とする。 (ア) 6 最も医療資源を投入した傷病による死亡 (イ) 7 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡
4 恩賜財団済生会	2019	脳卒中地域連携バスの利用率	地域連携バスの対象の患者数	分母のうち、診療行為に、190192870地域連携診療計画加算 (退院支援加算) が算定された患者数	退院患者数	様式1の医療資源を最も投入した病名に、I60\$くも膜下出血、I61\$脳内出血、I63\$脳梗塞が含まれている退院患者数
5 恩賜財団済生会	2019	脳卒中患者の平均在院日数	分母対象患者の在院日数の合計	様式1の在院日数 (入院日と退院日の差) の合計	退院患者数	病名 (※) に該当する患者 転院先が転院は除外 転帰が死亡は除外
6 恩賜財団済生会	2019	急性脳梗塞患者に対する入院後3日以内の早期リハビリテーション開始率	入院後3日以内のリハビリテーションが開始された患者	分母のうち、以下の行為が、入院3日以内に算定されている患者数 CodeName 180027610脳血管疾患等リハビリテーション料 (1) (廃用症候群以外) 180027710脳血管疾患等リハビリテーション料 (2) (廃用症候群以外) 180030810脳血管疾患等リハビリテーション料 (3) (廃用症候群以外) 180032410脳血管疾患等リハビリテーション料 (1) (廃用症候群) 180032510脳血管疾患等リハビリテーション料 (2) (廃用症候群) 180032610脳血管疾患等リハビリテーション料 (3) (廃用症候群) 180033910脳血管疾患等リハビリテーション料 (1) (要介護・廃用症候群以外) 180034010脳血管疾患等リハビリテーション料 (1) (要介護・廃用症候群) 180034110脳血管疾患等リハビリテーション料 (2) (要介護・廃用症候群以外) 180034210脳血管疾患等リハビリテーション料 (2) (要介	退院患者数	様式1の入院契機病名および医療資源を最も投入した病名に、I63\$脳梗塞が含まれ、脳卒中の発症時期が3日以内 (1)、入院時JCSがI群 (1,2,3) あるいは0の退院患者数 入院期間が3日以内の患者は除外 入院時併存症、入院後続発症にI21\$ 急性心筋梗塞、I23\$急性心筋梗塞の続発合併症、I951起立性低血圧 (症)、I60\$くも膜下出血、I61\$脳内出血、I62\$その他の非外傷性頭蓋内出血の記載がある患者は除外 退院時転帰が死亡 (6, 7) は除外

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
7 恩賜財団済生会	2019	急性脳梗塞患者に対する入院翌日までの頭部CTもしくはMRIの施行率	入院翌日までに頭部CTもしくはMRIが実施された患者数	分母のうち、以下の行為が、入院3日以内に算定されている患者数 CodeName 170011710C T撮影（その他） 170011810C T撮影（16列以上64列未満マルチスライス型機器） 170012110脳槽CT撮影（造影含む） 170015210MRI撮影（その他） 170020110MRI撮影（1.5テスラ以上の機器） 170028610C T撮影（4列以上16列未満マルチスライス型機器） 170033410C T撮影（64列以上マルチスライス型機器） 170033510MRI撮影（3テスラ以上の機器）	退院患者数	様式1の入院契機病名および医療資源を最も投入した病名に、I63\$脳梗塞が含まれ、脳卒中の発症時期が3日以内（1）
8 恩賜財団済生会	2019	急性脳梗塞患者における入院死亡率	退院時死亡の患者	退院時転帰が死亡（6、7）	退院患者数	様式1の入院契機病名および医療資源を最も投入した病名に、I63\$脳梗塞が含まれ、脳卒中の発症時期が3日以内（1）、入院時JCSがI群（1,2,3）あるいは0の退院患者数病名にI634脳動脈の塞栓症による脳梗塞もしくは、I638で脳幹、出血を含むまたはI639で脳幹、出血を含む疾患は除外
9 恩賜財団済生会	2019	胃瘻や経管栄養からの経口摂取可能となった割合	分母のうち、毎月に経口移行加算を算定した入所者数（実人数）の年間合計		毎月の胃瘻および経管栄養等で栄養摂取している入所者数（実人数）の年間合計	胃瘻、経管栄養等とは、胃瘻・腸瘻・経鼻栄養とする
10 恩賜財団済生会	2019	口腔機能維持管理に関する実施割合	分母のうち、毎月に口腔機能維持管理加算を算定した入所者数（実人数）の年間合計		各月の入所者数（実人数）の年間合計	
11 国立病院機構	2019	破裂脳動脈瘤患者に対する開頭による外科治療あるいは血管内治療の実施率	分母のうち、開頭による外科手術治療あるいは血管内治療が実施された患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	急性くも膜下出血の退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
12 国立病院機構	2019	急性脳梗塞患者に対する抗血小板療法の実施率	分母のうち、入院日から数えて2日以内にアスピリン、オザグレレル、シロスタゾール、クロピドグレルが投与された患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	急性脳梗塞の発症3日以内に入院し、退院した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
13 国立病院機構	2019	脳卒中患者に対する頸動脈エコー、MRアンギオグラフィ、CTアンギオグラフィ、脳血管撮影検査のいずれか一つ以上による脳血管（頸動脈）病変評価の実施率	分母のうち、当該入院期間中に頸動脈エコー、MRアンギオグラフィ、CTアンギオグラフィ、もしくは脳血管撮影検査にて脳血管（頸動脈）病変評価が実施された患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	脳卒中の発症3日以内に入院し、退院した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
14 国立病院機構	2019	急性脳梗塞患者に対する入院2日以内の頭部CTもしくはMRIの実施率	分母のうち、入院当日または翌日にCT撮影あるいはMRI撮影が施行された患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	急性脳梗塞の発症3日以内に入院し、退院した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
15 国立病院機構	2019	急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率	分母のうち、入院してから4日以内にリハビリテーションが開始された患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	急性脳梗塞の発症3日以内に入院し、入院中にリハビリテーションが実施された退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
16 国立病院機構	2019	急性脳梗塞患者における入院死亡率	分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	急性脳梗塞の発症3日以内に入院し、退院した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
17 国立病院機構	2019	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率	分母のうち、喉頭ファイバースコープ、嚥下造影検査、あるいは内視鏡下嚥下機能検査を施行した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	誤嚥性肺炎患者数（実患者数）	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
18 国立病院機構	2019	中心静脈カテーテル留置後の感染症の発生率	分母のうち、挿入後3日目以降7日以内に感染徴候のあった患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	入院中に中心静脈注射用カテーテルを挿入した退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
19 全国自治体病院協議会	2019	脳卒中連携パスの使用率	急性脳梗塞生存退院患者のうち、脳卒中パスで地域連携診療計画加算を算定した患者数	急性脳梗塞の生存退院患者のうち レセプト電算コード 190192870 A246 地域連携診療計画加算（入退院支援加算） 113023370 B009 地域連携診療計画加算（診療情報提供料Ⅰ） を算定した症例数 ・脳卒中を対象としたパスに限る	急性脳梗塞患者の生存退院患者数	退院日が調査期間に含まれる急性脳梗塞患者数 *急性脳梗塞の発症3日目以内に入院した患者とする *入院中の発症患者は除く DPCデータ提出病院においては、 1. 調査期間に様式1の統括管理番号0の退院日が含まれる。 2. 入院契機病名および医療資源病名のICD-10 コードが以下の患者。 I63\$ 脳梗塞 3. 医療資源病名が「疑い」病名の場合を除く。 4. 発症時期が発症3日目以内に入院した患者。 5. 入院中に発症した患者を除く 6. 死亡退院を除く
20 全国自治体病院協議会	2019	脳梗塞入院1週間以内のリハビリテーション強度	一週間以上入院し退院した急性期脳梗塞症例患者の入院7日目までのリハビリテーション施行単位数合計	一週間以上入院し退院した急性期脳梗塞症例患者の入院7日目までのリハビリテーション施行単位数合計 ・分母の患者に対し「H001\$ 脳血管疾患等リハビリテーション料」が入院7日目までに算定された単位数の合計とする。	一週間以上入院し退院した急性期脳梗塞症例数	一週間以上入院した急性期脳梗塞症例数（発症3日目以内に入院） 退院日が調査期間に含まれる。入院日が調査期間かは問わない。 DPCデータ提出病院においては 1. 入院契機病名および医療資源病名のICD-10 コードが以下の患者。 I63\$ 脳梗塞 2. 医療資源病名が「疑い」病名の場合を除く。 3. 発症時期が発症3日目以内に入院した患者。 4. 入院中に発症した患者を除く 5. 7日間以上入院した患者 (退院日 - 入院日 + 1 ≧ 7)
21 全国自治体病院協議会	2019	脳梗塞ADL改善度	急性脳梗塞生存退院患者の退院時BI※合計点数 - 入院時BI合計点数	・死亡退院の患者は入院時、退院時ともに対象外とする。 (303に含まれない) ・DPCの様式1のADLスコアの各桁の合計を5倍して、BIを求める。 例DPCのADLスコア1211111100の場合は45点となる。 ・入院時および退院時ともに判定できた項目のみを測定対象とし、どちらかで 不明(9)であった項目は入院時、退院時ともに計算対象外(=0)とする。 例：入院時2312099999 退院時2312132222 入院時に9と判定した項目は計算対象外となるため黒字のみを計算 入院時BI 40点退院時BI 45点となる。 ・患者毎に入院時BI 退院時BIを計算した上で、調査期間の該当退院 患者の入院時BI点数合計、退院時BI点数合計を求める。 ・対象となる患者では15歳未満でも様式1にADLを入力すること。 退院時BI点数合計 - 入院時BI点数合計 評価が入院時と退院時でどちらか一方が欠けたものは除外とす	急性脳梗塞の生存退院患者数	退院日が調査期間に含まれる急性脳梗塞患者数 *急性脳梗塞の発症3日目以内に入院した患者とする *入院中の発症患者は除く *死亡退院は除く DPCデータ提出病院においては、 1. 調査期間に様式1の統括管理番号0の退院日が含まれる。 2. 入院契機病名および医療資源病名のICD-10 コードが以下の患者。 I63\$ 脳梗塞 3. 医療資源病名が「疑い」病名の場合を除く。 4. 発症時期が発症3日目以内に入院した患者。 5. 入院中に発症した患者を除く 6. 死亡退院を除く
22 全国自治体病院協議会	2019	誤嚥性肺炎の摂食指導実施率	誤嚥性肺炎退院患者のうち、摂食機能療法が実施された患者数	摂食機能療法H004が算定された患者の退院数とする レセプト電算コード 180016610 摂食機能療法（30分以上） 180054310 摂食機能療法（30分未満） 一人の患者に複数回施行された場合でも同一入院では一人とする。 入院料に包括される場合は算定基準を満たして施行されていればカウント対象とする。 診療報酬請求の対象とならない指導は除外とする。	誤嚥性肺炎の退院患者数	DPCデータ提出病院においては、医療資源病名が誤嚥性肺炎 ICD-10コードJ69\$に該当する退院患者数

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
23 全国自治体病院協議会	2019	脳梗塞急性期t-PA治療施行率	急性脳梗塞の患者で血栓溶解療法(t-PA)がなされた患者のうち、A205超急性期脳卒中加算の算定数	303・1の急性脳梗塞の退院患者のうち下記を算定した患者 190126810 超急性期脳卒中加算 ※施設基準及び算定基準をみだし、上記加算が算定された退院患者数のみを対象とする。	急性脳梗塞の患者のうち、血栓溶解療法(t-PA)がなされた患者	急性脳梗塞の退院患者数のうち、*全国自治体病院協議会が配布する「血栓溶解療法」リストの薬剤を対象とする。
24 全日本病院協会	2019	死亡率_重症度別	期間中に死亡した患者の人数（疾患別、〇〇別）		期間中に退院した患者の人数（疾患別、〇〇別）	
25 全日本病院協会	2019	死亡率_年代別	期間中に死亡した患者の人数（疾患別、〇〇別）		期間中に退院した患者の人数（疾患別、〇〇別）	
26 全日本病院協会	2019	死亡率_性別	期間中に死亡した患者の人数（疾患別、〇〇別）		期間中に退院した患者の人数（疾患別、〇〇別）	
27 全日本病院協会	2019	急性脳梗塞患者リハビリテーション開始率	入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた患者数		18歳以上の脳梗塞の診断で入院した患者数	
28 全日本病院協会	2019	脳卒中地域連携バスの利用率	「地域連携診療計画加算」を算定した患者数		脳卒中で入院した患者数	
29 全日本病院協会	2019	脳卒中地域連携バスの利用率(転院先)	地域連携診療計画退院時指導料（1）が算定された患者数		脳卒中が医療資源を最も投入した傷病名である退院患者数	
30 全日本病院協会	2019	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率	「D299喉頭ファイバースコープ」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数		誤嚥性肺炎患者数	
31 全日本民医連	2020	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率	分母のうち「D299咽頭ファイバースコープ」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数		誤嚥性肺炎患者数	
32 全日本民医連	2020	リハビリを受けた急性脳梗塞患者における1日あたり単位数	総単位数	・分母の脳血管リハビリテーション治療における、実施単位の合計 レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例、実施単位は「使用量 EF12」×「行為回数 EF21」で計算。ただし、使用量や行為回数が0またはNULLの場合は「1」として集計。 ①レセ電コード：180044310 診療行為名：脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院） ②レセ電コード：180044410 診療行為名：脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院） ③レセ電コード：180044510 診療行為名：脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院） ④レセ電コード：180021610 診療行為名：脳血管疾患等リハビリテーション料（1） ⑤レセ電コード：180027710 診療行為名：脳血管疾患等リハビリテーション料（2） ⑥レセ電コード：180030810 診療行為名：脳血管疾患等リハビリテーション料（3） ⑦レセ電コード：180033910 診療行為名：脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介	当該月退院患者のうち、資源1病名のICD-10がI63で始まる(脳梗塞)症例で発症時期3日以内、発症前RS2以上の患者におけるリハビリ実施日数の総和	・解析期間に退院した症例を対象とする ・このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。 ・このうち、脳梗塞のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例 ・脳血管疾患等リハビリテーションの実施日数
33 全日本民医連	2020	脳梗塞患者への早期リハビリ開始率	分母のうち入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた患者数		18歳以上の脳梗塞の診断で入院した患者数	
34 全日本民医連	2020	地域連携バス 脳卒中患者に対する地域連携バスの利用率	分母のうち「地域連携診療計画加算」を算定した患者数	地域連携診療計画加算（退院支援加算） 地域連携診療計画加算（診療情報提供料1）	脳卒中で入院した患者数	死亡退院を除く脳卒中で入院した患者
35 地域医療機能推進機構	2019	破裂脳動脈瘤患者に対する開頭による外科治療あるいは血管内治療の実施率	分母のうち、開頭による外科手術治療あるいは血管内治療が施行された患者数		急性くも膜下出血の退院患者数	

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
36 地域医療機能推進機構	2019	急性脳梗塞患者に対するアスピリン、オンザグレル、アルガトロバン、ヘパリンの投与率	分母のうち、入院日から数えて2日以内にアスピリン、オザグレル、アルガトロバン、ヘパリンのいずれかが投与された患者数		急性脳梗塞の発症3日以内に入院し、退院した患者数	
37 地域医療機能推進機構	2019	脳卒中患者に対する頸動脈エコー、MRアンギオグラフィ、CTアンギオグラフィ、脳血管撮影検査のいずれか一つ以上による脳血管(頸動脈)病変評価の実施率	分母のうち、当該入院期間中に頸動脈エコー、MRアンギオグラフィ、CTアンギオグラフィ、もしくは脳血管撮影検査にて脳血管(頸動脈)病変評価が実施された患者数		脳卒中の発症3日以内に入院し、退院した患者数	
38 地域医療機能推進機構	2019	急性脳梗塞患者に対する入院2日以内の頭部CTもしくはMRIの実施率	分母のうち、入院当日・翌日にCT撮影もしくはMRI撮影が実施された患者数		急性脳梗塞（発症時期が3日以内）の退院患者数	
39 地域医療機能推進機構	2019	急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率	分母のうち、入院してから4日以内にリハビリテーションが開始された患者数		急性脳梗塞（発症時期が3日以内）の退院患者のうち、リハビリテーションが実施された退院患者数	
40 地域医療機能推進機構	2019	脳卒中患者に対する静脈血栓塞栓症の予防対策の実施率	分母のうち、当該入院期間中に「B001-6 肺血栓塞栓症予防管理料」が算定された患者数		脳卒中(くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳血管疾患の続発・後遺症)の退院患者数	
41 地域医療機能推進機構	2019	急性脳梗塞患者における入院死亡率	分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数		急性脳梗塞（発症時期が3日以内）の退院患者数	
42 地域医療機能推進機構	2019	誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率	分母のうち、「D299 喉頭ファイバースコープ」あるいは「E0037 造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた実患者数		誤嚥性肺炎患者数(実患者数)	
43 地域医療機能推進機構	2019	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤、未破裂脳動脈瘤患者のクリッピング/ラッピングにおける手術部位感染予防のための抗菌薬3日以内中止率	分母のうち、手術当日から数えて4日目に、抗菌薬を投与されていない患者数		くも膜下出血、破裂脳動脈瘤、未破裂脳動脈瘤でクリッピング/ラッピングを施行された患者数	
44 地域医療機能推進機構	2019	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤、未破裂脳動脈瘤患者のクリッピング/ラッピングにおける手術部位感染予防のための抗菌薬遅延率	分母のうち、手術当日から数えて4日後以降も7日以上連続して抗菌薬が投与された患者数		くも膜下出血、破裂脳動脈瘤、未破裂脳動脈瘤でクリッピング/ラッピングを施行された患者数	
45 地域医療機能推進機構	2019	退院患者の標準化死亡率	観測死亡患者率(入院中に死亡した実際の患者数の割合)		予測死亡患者率	
46 日本病院会	2019	一般 脳卒中患者のうち入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法を受けた患者の割合	分母のうち、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法(ワルファリン、ヘパリンを除く)を施行された患者数		脳梗塞かTIAと診断された18歳以上の入院患者数	
47 日本病院会	2019	一般 脳卒中患者のうち退院時抗血小板薬処方割合	分母のうち、退院時に抗血小板薬を処方された患者数		脳梗塞かTIAと診断された18歳以上の入院患者数	
48 日本病院会	2019	一般 脳卒中患者の退院時スタチン処方割合	分母のうち、退院時にスタチンが処方された患者数		脳梗塞で入院した患者数	
49 日本病院会	2019	一般 心房細動を伴う脳卒中患者への退院時抗凝固薬処方割合	分母のうち、退院時に抗凝固薬を処方された患者数		脳梗塞かTIAと診断され、かつ心房細動と診断された18歳以上の入院患者数	
50 日本病院会	2019	一般 脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者割合	分母のうち、入院後早期(3日以内)に脳血管リハビリテーションが行われた患者数		脳梗塞で入院した18歳以上の入院患者数	
51 日本病院会	2019	一般 脳卒中患者に対する地域連携バスの利用率	分母のうち「地域連携診療計画加算」を算定した患者数		脳卒中で入院した患者数	
52 日本慢性期医療協会	2014	降圧剤使用患者における血圧コントロール	血圧が目標値以下の患者数[人]		降圧剤が処方されている患者数[人]	
53 労働者健康安全機構	2019	救急搬送後の入院率	分母対象例のうち、救急搬送後の新入院患者数		救急搬送患者数	

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
54 労働者健康安全機構	2019	脳梗塞患者における早期リハビリテーション開始率	分母対象例のうち、入院年月日から数えて4日以内に「H001脳血管疾患等リハビリテーション料」を算定している患者(EFファイル)		以下のいずれにも該当する患者数 ・ 様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」が「ICD-10：I63\$脳梗塞」の退院患者 ・ 様式1の「脳卒中の発症時期」が「発症3日以内」の患者 ・ 様式1の「入院時意識障害がある場合のJCS」で「無」又は「I群(1～3)」に該当する患者 ・ 当該入院期間中に「H001脳血管疾患等リハビリテーション料」を算定している患者(EFファイル)	(分母除外項目) ・ 様式1の「退院時転帰」が「最も医療資源を投入した傷病による死亡」又は「最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」 ・ 様式1の「入院時併存症」又は「入院後発症疾患」に「ICD-10:I21\$急性心筋梗塞、I23\$急性心筋梗塞の続発合併症、I951起立性低血圧(症)、I60\$くも膜下出血、I61\$脳内出血、I62\$その他の非外傷性頭蓋内出血」が記載されている患者

"THA" (55指標) 指標定義一覧

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
1 厚労科研 (共通QI)	2017	予防的抗菌薬 a. 手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が点滴投与開始された手術件数		入院手術件数 (冠動脈バイパス手術・そのほかの心臓手術・股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術)	
2 厚労科研 (共通QI)	2017	予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率	分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数	3. 手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。 (ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月3日を検索) (イ) 予防的抗菌薬は「15a_予防的抗菌薬リスト_20171013版」に該当するものとする。	入院手術件数 (股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術)	1. 計測期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。 2. 「15a_術式・病名リスト_20171013版」の術式コード表もしくはレセプト電算コード表5.03、5.04、5.05、5.06、5.07、5.08に該当する手術を分母とする。
3 厚労科研 (共通QI)	2017	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策 (弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上) が実施された患者数	2. 分母のうち、EF ファイルを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかに該当する患者を抽出し、分子とする。 (ア) 以下の算定があった患者 113006910 肺血栓塞栓症予防管理料 (イ) 抗凝固療法 (以下の薬価基準コードの薬剤が用いられたもの) が行われた患者 3332\$, 3334400\$, 3334401\$, 3334406\$, 3339001\$, 3339002\$, 3339003\$, 3339004\$, 3339400\$	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	1. 計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術 (別表) (リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症 (静脈血栓塞栓症) の予防ガイドライン』に準じて抽出) のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式1の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分1は15歳以上の患者、区分2は40歳以上の患者を対象とする。
4 厚労科研 (共通QI)	2017	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率	分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数	2. 分母のうち、様式1の入院後発症疾患名に「肺塞栓症 (I26)」が記載されている患者を抽出し、分子とする。	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	1. 計測期間において、指標「手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 (リスクレベルが中リスク以上)」と同様に分母を算出する。
5 厚労科研 (共通QI)	2017	地域連携バス b. 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携バスの使用率	分母のうち「地域連携診療計画加算」を算定した患者数	5. 分母のうち、「地域連携診療計画加算」が算定されている患者を分子とする。 (ア) 190192870 地域連携診療計画加算 (退院支援加算) (イ) 113023370 地域連携診療計画加算 (診療情報提供料1)	大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数	1. 計測期間において退院した患者を対象とする。 2. 1のうち、医療資源を最も投入した傷病名のICD10コードが「S7200 大腿骨頸部骨折 閉鎖性」または「S7201 大腿骨頸部骨折 開放性」の患者を算出する。 3. 2のうち、手術1のKコードが以下である患者を算出する。 (ア) K0441 骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿 (イ) K046-21 観血的整復固定術 (インプラント周囲骨折に対するもの) 肩甲骨、上腕、大腿 (ウ) K0461 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿 (エ) K0611 関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝 (オ) K0631 関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝 (カ) K0811 人工骨頭挿入術 肩、股 (キ) K083 鋼線等による直達牽引 (初日。観血的に行った場合の手技料を含む。) (1局所につき) 4.3のうち、退院時転帰が下記に該当する患者を除外したものを分母とする。 (ア) 6 最も医療資源を投入した傷病による死亡 (イ) 7 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡
6 恩賜財団済生会	2019	手術が施行された患者における肺血栓塞栓症の院内発生率	分母のうち、入院後発症疾患に「肺塞栓症」が記載されている患者数	医療レセプト (DPC) およびDPC調査データの場合、入院後発症疾患に「肺塞栓症」が記載されている患者数とし、医療レセプト (医科) の場合は、傷病名に「I26\$肺塞栓症」が記載されている患者数	退院患者のうち、肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者数	様式1の手術情報に外保連マスタC以上の手術のいずれかがある患者で、以下の条件のもの 60歳以上の患者もしくは40歳以上60歳未満の患者で手術と同一日に以下の麻酔で45分以上実施されたもの L002\$ 硬膜外麻酔 L004 脊椎麻酔 L008\$ マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
7 恩賜財団済生会	2019	手術が施行された患者における肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	分母のうち、肺血栓塞栓症予防管理料(弾性ストッキングまたは間歇的空気圧迫装置を用いた計画的な医学管理)を実施および、抗凝固薬(低分子量ヘパリン、低用量未分画ヘパリン、合成Xa阻害剤、用量調節ワルファリン)が処方された患者数	以下のレセプト電算コードおよび薬価基準コードが存在する患者数 113006910 肺血栓塞栓症予防管理料 3332\$ 3334400\$ 3334401\$ 3334406\$ 3339001\$ 3339002\$ 3339003\$ 3339004\$ 3339400\$	退院患者のうち、肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者数	様式1の手術情報に外保連マスタC以上の手術のいずれかがある患者で、以下の条件のもの 60歳以上の患者もしくは40歳以上60歳未満の患者で手術と同一日に以下の麻酔で45分以上実施されたもの L002\$ 硬膜外麻酔 L004 脊椎麻酔 L008\$ マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔 手術が入院内に複数回実施された場合でも1件とする。 40歳未満、様式1の予定・救急医療入院が3緊急入院で、入院翌日までに手術が施行された患者は除外
8 恩賜財団済生会	2019	人工関節置換手術後3日以内の早期リハビリテーション開始率	「運動器リハビリテーション料」が算定された患者数	分母のうち、術後3日以内に診療行為に以下のレセプトコードが算定された患者数 H002\$ 運動器リハビリテーション料	退院患者数	医療資源を最も投入した病名のICD10が、M146、M17\$、M2546、M2576、M2586、M2596で以下の手術が実施された患者 150050310人工関節置換術(肩) 150050410人工関節置換術(股) 150050510人工関節置換術(膝) 150050610人工関節置換術(胸鎖) 150050710人工関節置換術(肘) 150050810人工関節置換術(手) 150050910人工関節置換術(足) 150051010人工関節置換術(肩鎖) 150051110人工関節置換術(指) 150255910人工関節再置換術(肩) 150256010人工関節再置換術(股) 150256110人工関節再置換術(膝) 150256210人工関節再置換術(胸鎖) 150256310人工関節再置換術(肘) 150256410人工関節再置換術(手) 150256510人工関節再置換術(足) 150256610人工関節再置換術(肩鎖) 150256710人工関節再置換術(指) 手術日から退院日までは3日以内の患者および、1入院で以下
9 恩賜財団済生会	2019	大腿骨頸部骨折地域連携バスの使用率	地域連携バスの対象の患者数	分母のうち、診療行為に、190192870地域連携診療計画加算(退院支援加算)が算定された患者数	退院患者数	様式1の医療資源を最も投入した病名に、S720\$大腿骨頸部骨折、S721\$転子貫通骨折、S722\$転子下骨折が含まれている退院患者数
10 恩賜財団済生会	2019	人工関節置換術/人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の3日以内および7日以内中止率	抗菌薬(注射)が中止された患者数	分母のうち、薬価基準コード61(注射)が予防的に投与され手術当日から数えて3日以内および7日以内に中止された患者数以下の行為が算定されている患者数	退院患者数	様式1の手術情報に以下の手術が含まれる患者 診療行為コード省略漢字名称 150049410人工骨頭挿入術(肩) 150049510人工骨頭挿入術(股) 150049810人工骨頭挿入術(肘) 150049910人工骨頭挿入術(手) 150050010人工骨頭挿入術(足) 150050210人工骨頭挿入術(指) 150050310人工関節置換術(肩) 150050410人工関節置換術(股) 150050510人工関節置換術(膝) 150050610人工関節置換術(胸鎖) 150050710人工関節置換術(肘) 150050810人工関節置換術(手) 150050910人工関節置換術(足) 150051010人工関節置換術(肩鎖) 150051110人工関節置換術(指) 150255910人工関節再置換術(肩) 150256010人工関節再置換術(股) 150256110人工関節再置換術(膝) 150256210人工関節再置換術(胸鎖) 150256310人工関節再置換術(肘)
11 国立病院機構	2019	大腿骨近位部骨折手術患者に対する早期リハビリテーション(術後4日以内)の実施率	分母のうち、手術当日から数えて4日以内にリハビリテーションが行われた患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	大腿骨近位部骨折で手術を施行した退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
12 国立病院機構	2019	股・膝関節の人工関節置換術施行患者に対する早期リハビリテーション（術後4日以内）の実施率	分母のうち、手術当日から数えて4日以内にリハビリテーションが行われた患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	股・膝関節の人工関節全置換術を施行した退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
13 国立病院機構	2019	大腿骨近位部骨折手術患者における手術部位感染予防のための抗菌薬遷延率	分母のうち、予防的投与後（手術当日から数えて4日目以降）に抗菌薬を7日以上連続で処方した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	大腿骨近位部骨折で手術を施行した退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
14 国立病院機構	2019	股・膝関節の人工関節置換術施行患者における抗菌薬3日以内中止率	分母のうち、手術当日から数えて4日目に、抗菌薬を処方していない患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	股・膝関節の人工関節全置換術を施行した退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
15 国立病院機構	2019	股・膝関節の人工関節置換術施行患者における手術部位感染予防のための抗菌薬遷延率	分母のうち、予防的投与後（手術当日から数えて4日目以降）に抗菌薬を7日以上連続で処方した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	股・膝関節の人工関節全置換術を施行した退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
16 国立病院機構	2019	手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率(リスクレベルが中リスク・高リスク)	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）を実施した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」または「高」の手術を施行した退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
17 国立病院機構	2019	手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率(リスクレベルが中リスク・高リスク)	分母のうち、当該入院期間中に肺血栓塞栓症を発症した患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」または「高」の手術を施行した退院患者数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
18 全国自治体病院協議会	2019	手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	手術のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数	・抗菌薬の種類及び投与方法は問わない	手術室で行った手術件数	*手術室で行ったすべての手術とする *同時に複数の手術が行われた場合は算定件数に関わらず1件とする。 *同一患者で同一日に複数回の手術を手術室で行われた場合は最初の1件のみカウントする。
19 全国自治体病院協議会	2019	肺血栓塞栓症の予防対策実施率	肺血栓塞栓症の予防対策対象手術が実施された退院患者のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された退院患者数	弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上が実施された退院患者数	肺血栓塞栓症発症リスクレベル「中」以上の手術を実施した退院患者数	・退院日が調査期間に含まれる患者を対象とする。 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術* *全国自治体病院協議会が配布するリストのうち、計算対象の欄に 18E、40E、60E が記載されている手術を対象とする。
20 全国自治体病院協議会	2019	大腿骨地域連携バスの使用率	大腿骨頸部骨折「地域連携診療計画管理料」症例数	下記のすべてを満たす患者数 ・退院日が調査期間に含まれる ・大腿骨頸部骨折の患者（DPCデータ提出病院については契機病名および医療資源病名のICD-10コードがS720\$大腿骨頸部骨折） ・医療資源病名が「疑い」の場合を除く ・下記の手術を行った患者 レセプト電算コード 150019210 骨折観血的手術（大腿） 150049510 人工骨頭挿入術（股） ・死亡退院は除く	大腿骨頸部骨折【大腿骨頸部骨折骨接合術、大腿骨頸部骨折人工骨頭置換術等を実施】退院症例数	大腿骨頸部骨折「地域連携診療計画管理料」症例数のうち、レセプト電算コード 190192870 A246 地域連携診療計画加算（入退院支援加算） 113023370 B009 地域連携診療計画加算（診療情報提供料I）を算定した症例数 ・大腿骨骨折を対象としたに限る
21 全日本病院協会	2019	肺血栓塞栓症の予防対策実施率	肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）が実施された患者数		肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院症例数	
22 全日本病院協会	2019	肺血栓塞栓症の発生率_管理料算定有無別	肺血栓塞栓症を発症した患者数		肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院症例数	
23 全日本病院協会	2019	大腿骨地域連携バスの使用率	「地域連携診療計画加算」を算定した患者数		大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数	
24 全日本病院協会	2019	大腿骨頸部骨折連携バスの使用率(転院先)	地域連携診療計画退院時指導料（1）が算定された患者数		大腿骨頸部骨折が医療資源を最も投入した傷病名である退院患者数	
25 全日本病院協会	2019	術後24時間以内の予防的抗菌薬の投与停止率	手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数		入院手術件数（股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術）	
26 全日本病院協会	2019	術後48時間以内の予防的抗菌薬の投与停止率	術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数		入院手術件数（冠動脈バイパス手術・そのほかの心臓手術）	

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
27 全日本民医連	2020	待機的手術で術当日、翌日に6単位以上の輸血（RCC）を必要とした患者および自己血に加えて保存血輸血をした患者の割合	手術当日または翌日に6単位以上のRCC輸血を必要とした患者または自己血に加えRCC輸血が必要となった患者	Ⅰ.大量輸血の実施された症例 以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれ、その合計数量が3を超える症例。合計数量はEFファイルのEF-12使用量×EF-21行為回数、あるいはFファイルのF-12使用量×対応するEファイルのE-15行為回数を、入院期間で合計する（複数薬剤も合算する） ①薬価基準コード7桁：6341403 成分名：人全血液 ②薬価基準コード7桁：6341404 成分名：人全血液 ③薬価基準コード7桁：6342402 成分名：合成血 ④薬価基準コード7桁：6342403 成分名：解凍人赤血球濃厚液 ⑤薬価基準コード7桁：6342405 成分名：人赤血球濃厚液 ⑥薬価基準コード7桁：6342407 成分名：白血球除去人赤血球浮遊液 ⑦薬価基準コード7桁：6342408 成分名：洗浄人赤血球浮遊液 ⑧薬価基準コード7桁：6342410 成分名：人赤血球濃厚液	退院患者のうち胃がん、大腸がん、直腸がん、食道がん、待期的手術実施	Ⅰ.解析期間に退院した症例を対象とする Ⅱ.このうち、食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がんに対する手術をされた症例 DPCコードが以下のいずれかの症例 ①DPCコード：060010xx01 \$ 内容：食道の悪性腫瘍 手術 K5291 等 ②DPCコード：060020xx01 \$ 内容：胃の悪性腫瘍 手術 K6572 等 ③DPCコード：060020xx02 \$ 内容：胃の悪性腫瘍 手術 K655-22 等 ④DPCコード：060035xx01 \$ 内容：大腸の悪性腫瘍 手術 K7193 等 ⑤DPCコード：060035xx02 \$ 内容：大腸の悪性腫瘍 手術 K724 等 ⑥DPCコード：060040xx01 \$ 内容：直腸の悪性腫瘍 手術 K645 等 ⑦DPCコード：060035xx01 \$ 内容：結腸の悪性腫瘍 手術 K7193 等 ⑧DPCコード：060035xx02 \$ 内容：結腸の悪性腫瘍 手術 K724 等 ⑨DPCコード：060040xx01 \$ 内容：直腸肛門の悪性腫瘍 手術 K7481 等
28 全日本民医連	2020	地域連携バス 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携バスの使用率	分母のうち「地域連携診療計画加算」を算定した患者数		大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数	
29 全日本民医連	2020	緊急再手術割合 A) 入院手術患者の術後48時間以内緊急再手術割合	A) 手術後48時間以内緊急再手術数		入院手術数（入院手術を行った退院患者数）	
30 全日本民医連	2020	緊急再手術割合 B) 一入院期間中の手術後30日以内緊急再手術割合（手術後48時間以内含む）	B) 1入院期間中の手術後30日以内緊急再手術数（手術後48時間以内含む）		入院手術数（入院手術を行った退院患者数）	
31 全日本民医連	2020	予防的抗菌薬 A) 手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	A)手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が点滴投与開始された手術件数		A)入院手術件数（冠動脈バイパス手術・そのほかの心臓手術・股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術）	
32 全日本民医連	2020	予防的抗菌薬 B)術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率	B)分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数		B)入院手術件数（股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術）	
33 全日本民医連	2020	予防的抗菌薬 C) 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率	C)分母のうち術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数		C)入院手術件数（冠動脈バイパス手術・そのほかの心臓手術）	
34 全日本民医連	2020	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 A)手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	A)分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）が実施された患者数		肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	
35 全日本民医連	2020	手術ありの患者の肺血栓塞栓症 B)手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率	B)分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数		肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	
36 地域医療機能推進機構	2019	大腿骨近位部骨折患者に対する早期リハビリテーション(術後4日以内)の実施率	分母のうち、手術当日から数えて4日以内に「H002\$ 運動器リハビリテーション料」が算定された患者数		大腿骨頸部または大腿骨転子部にかかわる手術を施行した退院患者数	
37 地域医療機能推進機構	2019	人工膝関節全置換術後の早期リハビリテーションの実施率	分母のうち、手術当日から数えて4日以内に「H002\$ 運動器リハビリテーション料」が算定された患者数		人工膝関節全置換術が施行された退院患者数	
38 地域医療機能推進機構	2019	股関節大腿近位骨折手術施行患者における抗菌薬3日以内中止率	分母のうち、手術当日から数えて4日目に、抗菌薬を投与されていない患者数		股関節大腿近位骨折手術を施行された患者数	

	団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
39	地域医療機能推進機構	2019	股関節大腿近位骨折手術施行患者における抗菌薬1日以内中止率	分母のうち、手術当日から数えて2日目に、抗菌薬を投与されていない患者数		股関節大腿近位骨折手術を施行された患者数	
40	地域医療機能推進機構	2019	股関節大腿近位骨折手術施行患者における抗菌薬7日以内中止率	分母のうち、手術当日から数えて8日目に、抗菌薬を投与されていない患者数		股関節大腿近位骨折手術を施行された患者数	
41	地域医療機能推進機構	2019	股関節大腿近位骨折手術施行患者における手術部位感染予防のための抗菌薬遷延率	分母のうち、手術当日から数えて4日後以降も7日以上連続して抗菌薬が投与された患者数		股関節大腿近位骨折手術を施行された患者数	
42	地域医療機能推進機構	2019	手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率(リスクレベルが中リスク以上)	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策(弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上)が実施された患者数		肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	
43	地域医療機能推進機構	2019	手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率(リスクレベルが中リスク以上)	分母のうち、肺血栓塞栓症を発症した患者数		肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	
44	地域医療機能推進機構	2019	術後感染症疑い率	術後の感染症らしき症例数		手術ありの症例	
45	地域医療機能推進機構	2019	術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率	分母のうち、入院後発症疾患名に「大腿骨転子部骨折」あるいは「大腿骨頸部骨折」が記載され、入院中の2回目の手術で大腿骨頭回転切り術、大腿骨近位部(転子間を含む)骨切り術、人工骨頭挿入術のいずれかが施行された症例		手術を施行した退院症例の術後の延べ在院日数	
46	日本病院会	2019	一般 特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数		特定術式の手術件数	除外： 入院時年齢が18歳未満の患者 在院日数が120日以上の患者 帝王切開手術施行患者 臨床試験・治験を実施している患者 術前に感染が明記されている患者 全身/脊椎/硬膜外麻酔で行われた手術・手技が、主たる術式の前後3日（主たる術式が冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合は4日）に行われた（日数計算は麻酔開始日/麻酔終了日を基点とする） 外来手術施行患者
47	日本病院会	2019	一般 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率	術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数		特定術式の手術件数	除外： 入院時年齢が18歳未満の患者 在院日数が120日以上の患者 帝王切開手術施行患者 臨床試験・治験を実施している患者 術前に感染が明記されている患者 全身/脊椎/硬膜外麻酔で行われた手術・手技が、主たる術式の前後3日（主たる術式が冠動脈バイパス手術またはそのほかの心臓手術の場合は4日）に行われた（日数計算は麻酔開始日/麻酔終了日を基点とする） 手術室内または回復室内での死亡患者
48	日本病院会	2019	一般 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携バスの利用率	分母のうち「地域連携診療計画加算」を算定した患者数		大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数	
49	日本病院会	2019	一般 大腿骨頸部骨折の早期手術割合	分母のうち、入院2日以内に手術を受けた患者数		大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数	
50	日本病院会	2019	一般 大腿骨転子部骨折の早期手術割合	分母のうち、入院2日以内に手術を受けた患者数		大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数	

	団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
51	労働者健康安全機構	2019	手術患者における静脈血栓塞栓症の予防行為実施率	ガイドラインに沿った静脈血栓症の予防行為を行った患者数 (肺血栓塞栓予防管理料算定件数)		手術を受けた退院患者数	(分母除外項目) 1 麻酔時間が45分未満の手術 2 局所麻酔のみの手術 3 同一入院中に2回以上手術
52	労働者健康安全機構	2019	入院患者の肺塞栓症の発生率	入院中に発症した肺塞栓症の患者数	分子は分母のうち様式1ファイル「入院中に発症した(続発症-1)~(続発症-10)」のいずれかに「肺塞栓症」のICD10コード「I26','I260','I269」が存在	退院患者数	
53	労働者健康安全機構	2019	手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	分母対象例のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された患者数		入院して手術室で手術を受けた退院患者数	(分母除外項目) 1 同一入院期間中に複数回の手術が行われている患者 2 手術申込が手術開始24時間以内に行われた患者(緊急手術) 3 外来患者 4 術前に感染が明記されている患者 5 予防的抗菌薬が投与されていない患者 6 手術前日から術後2日目までに抗菌薬が投与されていない患者 7 静脈注射以外による予防的抗菌薬投与を行った患者
54	労働者健康安全機構	2019	大腿骨頭置換術手術患者の術後平均在院日数	分母対象例の術後在院日数(退院日-手術日)の総和		測定期間内の退院患者のうち、入院中に「大腿骨骨頭置換術」を受けた患者数	Kコード:K0811,K0821 (股関節に係る手術のみ)
55	労働者健康安全機構	2019	大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率	分母対象例のうち、手術年月日から数えて4日以内に「H002運動器リハビリテーション料」を算定している患者(EFファイル)		以下のいずれにも該当する患者数 ・様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」が次のいずれかの退院患者(ICD-10:①M2435,②M2445,③S7200,④S7210,⑤S7220,⑥S7230,⑦S7270,⑧S7280,⑨S7290,⑩S730=MDC160800) ・当該入院期間中に「K0461(大腿)」、「K0731(股)」、「K0811(股)」のいずれかを算定している患者(EFファイル:部位はレセプト電算コードにより識別)	(分母除外項目) ・手術後3日以内に退院した患者(様式1:1≦退院年月日-手術年月日+1≦3) ・当該入院期間中の様式1の手術情報に異なる手術日が2日以上ある患者

"脳卒中・THA"入院医療全体指標（104指標）指標定義一覧

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
1 厚労科研（共通QI）	2017	入院患者満足度「a.全体としてこの病院に満足していますか？」	分母のうち「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した入院患者数	2. 分母のうち、「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した患者を分子とする。 (ア) 評価は、「非常に満足している」、「やや満足している」、「どちらともいえない」、「やや不満である」、「非常に不満である」の5段階とする。	入院患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数	1. 入院患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問に回答した患者を分母とする。
2 厚労科研（共通QI）	2017	入院患者満足度「b.入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」	分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した入院患者数	2. 分母のうち、「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した患者を分子とする。 (ア) 評価は、「十分だった」、「まあまあ十分だった」、「あまり十分ではなかった」、「十分ではなかった」、「説明を受けていない」の5段階とする。	入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数	1. 入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問に回答した患者を分母とする。
3 厚労科研（共通QI）	2017	入院患者満足度「c.入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」	分母のうち「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した入院患者数	2. 分母のうち、「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した患者を分子とする。 (ア) 評価は、「十分に伝えられた」、「まあまあ伝えられた」、「あまり伝えられなかった」、「まったく伝えられなかった」、「疑問や意見は特になかった」の5段階とする。	入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問有効回答数	1. 入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問に回答した患者を分母とする。
4 厚労科研（共通QI）	2017	転倒・転落 a.入院患者での転倒転落発生率	入院中の患者に発生した転倒・転落件数	2. 分母のうち、医療安全管理部門へインシデント・アクシデント報告が提出された入院中の転倒・転落件数を分子とする。 (ア) 入院患者以外の転倒・転落によるものは分子から除外する。 (イ) 転倒・転落発生日が分母と同月の場合に分子に含む。 (ウ) 医療スタッフによる介助時や移動時の転倒・転落によるものは分子に含む。 (エ) 医療施設の敷地外や外泊中の転倒・転落によるものは分子に含む。 (オ) 意図的な転倒・転落によるものは分子に含む。 (カ) 同一患者における複数回の転倒・転落によるものは個別にカウントする。 (キ) 同一患者における同一転倒・転落に対し複数のインシデント・アクシデント報告が提出された場合には、複数の報告を1件として分子に含む。	入院患者延べ数（人日）	1. 調査期間中の月別の入院患者延べ数（許可病床数にかかわらず24時現在に在院していた患者数および退院患者数）の合計を分母とする。
5 厚労科研（共通QI）	2017	転倒・転落 b.入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率	入院中の患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落件数	2. 分母のうち、医療安全管理部門へインシデント・アクシデント報告が提出された入院中の転倒・転落件数のうち、インシデント影響度分類レベルが3b以上の件数を分子とする。 (ア) 入院患者以外の転倒・転落によるものは分子から除外する。 (イ) 転倒・転落発生日が分母と同月の場合に分子に含む。 (ウ) 医療スタッフによる介助時や移動時の転倒・転落によるものは分子に含む。 (エ) 医療施設の敷地外や外泊中の転倒・転落によるものは分子に含む。 (オ) 意図的な転倒・転落によるものは分子に含む。 (カ) 同一患者における複数回の転倒・転落によるものは個別にカウントする。 (キ) 同一患者における同一転倒・転落に対し複数のインシデント・アクシデント報告が提出された場合には、複数の報告を1件として分子に含む。	入院患者延べ数（人日）	1. 調査期間中の入院患者延べ数（許可病床数にかかわらず24時現在に在院していた患者数および退院患者数）の合計を分母とする。

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
6 厚労科研（共通Q1）	2017	褥瘡発生率	d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数	1. 調査月間における在院患者および退院患者を対象とする。 2. 1のうち、同日入退院の患者を除外する。 3. 2のうち、入院時刻から24時間以内にDESIGN-R®（2008年改訂版褥瘡経過評価用）Depth(深さ)のd1, d2, D3, D4, D5, DUのいずれかの記録がある患者を除外する。 4. 3のうち、同一入院期間中の調査月間以前に院内新規褥瘡があった患者を除外する。 6. 4のうち、院内新規褥瘡があった患者数を分子とする。	同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数（人日）	1. 調査月間における在院患者および退院患者を対象とする。 2. 1のうち、同日入退院の患者を除外する。 3. 2のうち、入院時刻から24時間以内にDESIGN-R®（2008年改訂版褥瘡経過評価用）Depth(深さ)のd1, d2, D3, D4, D5, DUのいずれかの記録がある患者を除外する。 4. 3のうち、同一入院期間中の調査月間以前に院内新規褥瘡があった患者を除外する。 5. 4の入院延べ日数を分母とする。
7 厚労科研（共通Q1）	2017	再入院（30日）a.30日以内の予定外再入院率	分母のうち前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数	3. 分母のうち、前回退院年月日が30日以内の患者を算出する。 4. 3のうち、救急医療入院「3**」の患者を分子とする。	退院患者数	1. 計測期間において退院した患者を対象とする。 2. 1のうち、様式1の入院経路が一般入院「1」「4」「5」の患者を分母とする。
8 恩賜財団済生会	2019	インシデント・アクシデント調査（医療）	アクシデント件数	レベル3（レベル3A・レベル3Bに区分して記録している場合は、レベル3B）以上の件数	各施設で集計されたレベル別インシデント・アクシデントの総件数	
9 恩賜財団済生会	2019	医療ソーシャルワーカー業務担当職員数	集計対象期間開始時点で医療ソーシャルワーカー業務に従事している職員数	社会福祉士等の資格の有無は問わず、相談業務に従事している職員の常勤換算数	病床数	
10 恩賜財団済生会	2019	入院患者の満足度調査	各対象病院における1ヶ月間の退院患者から得た有効回答	大変満足：5点、やや満足：4点、3.どちらでもない：3点、やや不満：2点、大変不満：1点		
11 恩賜財団済生会	2019	回復期リハビリテーション病棟退院患者の在宅復帰率	退院先が在宅・居宅系介護施設の患者数		回復期リハビリテーション病棟の退院患者数	死亡退院数・再入院患者数・急性増悪で他院へ転院した患者数を除いた退院患者数
12 恩賜財団済生会	2019	急性期病棟における退院調整の実施率	分母のうち、「退院調整加算1」が算定された患者数	分母のうち、診療行為に、190192310退院支援加算1（一般病棟入院基本料等の場合）、190192510退院支援加算2（一般病棟入院基本料等の場合）または190192710退院支援加算3が算定された患者数	退院患者数	65歳以上の退院患者数 様式1の退院時転帰が死亡（6もしくは7）の患者は除く
13 恩賜財団済生会	2019	退院時共同指導の実施率	地域共同指導対象の患者数	分母のうち、診療行為に、113008910退院時共同指導料2が算定された患者数	退院患者数	様式1の退院先が転院・介護施設（4もしくは7）以外、もしくは院時転帰が死亡の患者は除く
14 恩賜財団済生会	2019	介護支援連携指導の実施率	地域連携バスの対象の患者数	分母のうち、Fファイルに、113011710介護支援連携指導料が算定された患者数	退院患者数	65歳以上の退院患者数 退院先が転院（4）以外、退院時転帰が死亡（6もしくは7）の患者を除く
15 恩賜財団済生会	2019	インシデント・アクシデント調査（介護）	分母のうち、レベル3（レベル3A・レベル3Bに区分して記録している場合は、レベル3B）以上の件数		各施設で集計されたレベル別インシデント・アクシデントの総件数	
16 恩賜財団済生会	2019	おむつ使用率	分母のうち、日中帯におむつを使用している入所者数（実人数）	おむつ使用とは、おむつ以外のパット等を使用している場合でも吸水量500ml以上のものを使用している場合。また、排便5回のうち4回以上トイレまたはPトイレで排便ができていない場合（トイレまたはPトイレでの排便が80%に満たない場合）をいう。	3月末時点の入所者数（実人数）	
17 国立病院機構	2019	退院患者の標準化死亡比	観測死亡率（入院中に死亡した患者の割合）	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	予測死亡率	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
18 国立病院機構	2019	入院患者における総合満足度	分母となったアンケートにおける全10項目の合計点数	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる	各対象病院における1ヶ月間の退院患者を対象としたアンケートのうち、有効回答だったアンケートの数×50点	「国立病院機構 臨床評価指標Ver.4 計測マニュアル」に準ずる
19 全国自治体病院協議会	2019	入院患者満足度	満足のいく治療を受けたと回答した入院患者数	満足・やや満足の回答数	患者満足度の有効回答数（入院）	満足・やや満足・やや不満・不満の回答数

	団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
20	全国自治体病院協議会	2019	入院患者満足度（看護）	満足のいく看護を受けたと回答した入院患者数	満足・やや満足の回答数	患者満足度の有効回答数（看護）	満足・やや満足・やや不満・不満の回答数
21	全国自治体病院協議会	2019	転倒・転落発生率	入院患者転倒・転落レベル2以上該当件数	インシデント・アクシデントレポートの入院患者転倒・転落数【レベル2以上】 除外：訪問者、学生、スタッフ、外来のみの患者等を除く レベル2以上：別表「転倒・転落による損傷のレベル」参照 ・介助時に入院患者が転倒・転落した場合は対象とする。 ・複数回の転倒・転落は、期間中に起きた回数とする ・1回の転倒・転落に関して複数枚のレポートが提出された場合は1件のみとする。 ・入院患者の転倒・転落であれば敷地内、敷地外いずれかは問わない。 ・外泊、外出中であっても入院期間であれば含める	入院延べ日数	調査期間の病院全体の入院延べ日数 包含：入院日、退院日 ※入院患者の定義（各項目共通） 包含：労災、自賠、自費、正常分娩等 除外：宿泊ドック、健常新生児、 救急患者として受入れ、処置室手術室等において死亡した患者について入院料を算定する場合
22	全国自治体病院協議会	2019	褥瘡推定発生率	入院時に褥瘡なく調査日に褥瘡を保有する患者数+入院時に褥瘡あり他部位に新規褥瘡発生した患者数	【入院時に褥瘡なく調査日に褥瘡を保有する患者数】 新たに入院中に発生した褥瘡を調査日に有している患者数。 （入院時にあった褥瘡は治癒しており同部位に再発した場合、他部位に発生した場合も含む） 同一患者に複数あっても1 【入院時に褥瘡あり他部位に新規褥瘡発生した患者数】 入院時に記録された褥瘡保有とは別に、新たに入院中に発生した褥瘡を調査日に有している患者数。（入院時に記録された保有褥瘡が継続しており、さらに新規の褥瘡もある場合。） 同一患者に複数の新規褥瘡があっても1	調査日の施設在院数	※調査日に入院または入院予定患者は含めない 調査日に退院または退院予定患者は含める 調査日に入院し、退院した患者は含めない
23	全国自治体病院協議会	2019	クリニカルバス利用率（患者数）	バス新規適用患者数	調査期間に開始されたバス数をカウントする。 同一患者同一入院期間は最初の1回のみカウントする。 別シート（一般17図）の青数字合計の3となる。	新入院患者数	調査期間の病院全体の新入院患者数 複数回入院した場合はその都度カウント ※入院患者の定義（各項目共通） 包含：労災、自賠、自費、正常分娩等 除外：宿泊ドック、健常新生児、救急患者として受入れ、処置室手術室等において死亡した患者について入院料を算定する場合
24	全国自治体病院協議会	2019	クリニカルバス利用率（日数）	バス適用日数合計	調査期間中に開始日が含まれるバスの適応日数合計（入院患者） 入院日が期間中かどうかは問わない 終了日が期間中かどうかは問わない 集計時点でバスが終了していない場合は終了予定日までの日数でカウントする。 同一患者で同一日に複数適応がある場合でも、適応日数は1日とカウントし、重複カウントはしない。	入院延べ日数	調査期間の病院全体の入院延べ日数 包含：入院日、退院日 ※入院患者の定義（各項目共通） 包含：労災、自賠、自費、正常分娩等 除外：宿泊ドック、健常新生児、 救急患者として受入れ、処置室手術室等において死亡した患者について入院料を算定する場合
25	全日本病院協会	2019	平均在院日数_疾患別	期間中に退院した患者の在院日数の合計（疾患別、○○別）		期間中に退院した患者の人数（疾患別、○○別）	
26	全日本病院協会	2019	平均在院日数_重症度別	期間中に退院した患者の在院日数の合計（疾患別、○○別）		期間中に退院した患者の人数（疾患別、○○別）	
27	全日本病院協会	2019	平均在院日数_年代別	期間中に退院した患者の在院日数の合計（疾患別、○○別）		期間中に退院した患者の人数（疾患別、○○別）	
28	全日本病院協会	2019	平均在院日数_性別	期間中に退院した患者の在院日数の合計（疾患別、○○別）		期間中に退院した患者の人数（疾患別、○○別）	

	団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
29	全日本病院協会	2019	予定しない再入院率（30日以内再入院）_疾患別	前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数		退院患者数	
30	全日本病院協会	2019	予定しない再入院率（30日以内再入院）_重症度別	前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数		退院患者数	
31	全日本病院協会	2019	予定しない再入院率（30日以内再入院）_年代別	前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数		退院患者数	
32	全日本病院協会	2019	予定しない再入院率（30日以内再入院）_性別	前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数		退院患者数	
33	全日本病院協会	2019	医療費_重症度別	①期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、○○別） ②期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、○○別）		①期間中に退院した症例数（疾患別、○○別） ②期間中に退院した症例の在院日数の合計（疾患別、○○別）	
34	全日本病院協会	2019	医療費_年代別	①期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、○○別） ②期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、○○別）		①期間中に退院した症例数（疾患別、○○別） ②期間中に退院した症例の在院日数の合計（疾患別、○○別）	
35	全日本病院協会	2019	医療費_性別	①期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、○○別） ②期間中に退院した症例の入院医療費の合計（疾患別、○○別）		①期間中に退院した症例数（疾患別、○○別） ②期間中に退院した症例の在院日数の合計（疾患別、○○別）	
36	全日本病院協会	2019	褥瘡の持込率	入院時に褥瘡のある患者数		退院患者数	
37	全日本病院協会	2019	褥瘡の発生率	d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数		同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数（人日）	
38	全日本病院協会	2019	65歳以上の患者における認知症の保有率	65歳以上で認知症のある患者数		65歳以上の退院患者数	
39	全日本病院協会	2019	急性期病棟における退院調整の実施率	退院調整加算（一般病棟入院基本料等）が算定された症例数		65歳以上の退院症例数（退院時転帰が死亡であった症例を除く）	
40	全日本病院協会	2019	患者満足度（入院、満足度）	分母のうち「①非常に満足、②やや満足、③やや不満、④非常に不満」と回答した退院患者数		実施時期1ヶ月間の退院患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数	
41	全日本病院協会	2019	患者満足度（入院、医師について）	分母のうち「①十分だった、②まあまあ十分だった、③あまり十分ではなかった、④十分ではなかった」と回答した退院患者数		実施時期1ヶ月間の退院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数	
42	全日本病院協会	2019	転倒・転落（件数）	入院中の患者に発生した転倒・転落件数		入院患者延べ数（人日）	
43	全日本病院協会	2019	転倒・転落（3b以上）	入院中の患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落件数		入院患者延べ数（人日）	

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
44 全日本民医連	2020	在院日数 DPC病院の在院日数(全国平均以内の割合)	当該月にDPC II 期間内で退院した患者数		当該月にDPC適応で、退院した患者数	I.解析期間に退院した症例を対象とする II.このうち、分科会の分析対象データを参考に、以下の基準で除外を行う ①在院日数1日以下(外泊日数含む)②外泊>=在院日数③年齢0歳未満120歳超④一般病棟以外の病棟との移動あり(DPC対象病棟となる入院料を算定していないもの)⑤24時間以内の死亡⑥移植手術あり⑦DPC該当せず⑧治験の実施⑨生後7日以内の死亡
45 全日本民医連	2020	褥瘡新規発生率	d2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡発生患者数		同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数(人日)	
46 全日本民医連	2020	病棟における薬剤関連事故事象発生率	薬剤投与間違い、注射間違い		入院患者延数(24時在院患者+退院患者数の合計)	
47 全日本民医連	2020	注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの血液暴露事案件数	注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの血液暴露事案件数		入院患者延べ数(24時在院患者+退院患者数の合計)	
48 全日本民医連	2020	中心ライン関連血流感染発生率	当月の中心ライン関連血流感染件数		当月患者の中心ライン留置延べ日数	
49 全日本民医連	2020	総黄色ブドウ球菌検出患者の内のMRSA比率	期間内のMRSA検出入院患者数		期間内のS.aureus(黄色ブドウ球菌)検出入院患者数	
50 全日本民医連	2020	カテーテル関連尿路感染発生率	当月のカテーテル関連尿路感染症発生件数		当月患者の尿道カテーテル留置延べ日数	
51 全日本民医連	2020	リハビリテーション実施率	A) 疾患別リハビリ(PT、OT、STいずれか)を実施した退院患者数(在院日数3日以内は除く) B) 疾患別リハビリ総単位数 C) 疾患別リハビリ総単位数 D) 回復期リハビリ病棟を退院した患者の(FIM得点[運動項目]の退棟時と入棟時の差)を在棟日数で割った値の総和	A) 当月退院患者のうちリハビリを実施した患者。D P C データを使用する場合、様式1の存在する患者のEファイルの各リハビリ点数コードを用いて算出できる。 B) C) 当月に実施したリハビリについて総単位数を算出する。 D) 退院した各患者で個々に計算したものを合計する	A) 退院患者数(在院日数3日以内は除く) B) 訓練実施をした患者の訓練実施日数の総和 C) 資格を有するリハビリテーション職員数の当月一日の人数と月末の人数の和を2で割った値 D) 回復期リハ病棟を当月退院した患者数	A) リハビリ介入が必要な対象患者をより明確にするため、「退院患者のうち在院日数3日以内は除く」退院患者を対象とする。 B) 当月に訓練した患者については在院日数にかかわらずすべて含めて計算する。 C) 組織図上リハビリテーション部門に所属する常勤セラピストをすべて含む。時短勤務やパート職員は勤務時間に応じて常勤換算する。 D) 入棟時の点数や年齢による除外はない。除外患者:在棟日数が14日以内の患者(回復期リハビリ病棟の必要な対象者をより明確にするため)、死亡退院患者、途中で急性期病棟に移動した患者(その後再度回復期リハ病棟に戻った患者も除外する)。
52 全日本民医連	2020	ケアカンファレンス実施割合	調査月退院患者のうち、入院期間中に1回以上医師・看護師・コメディカルによるカンファレンス記録のある患者		退院患者数	
53 全日本民医連	2020	退院後7日以内の予定外・緊急再入院割合	当月の退院患者のうち、前回退院から7日以内に計画外で再入院した患者 (前回入院時には存在しなかった疾患を契機での入院は除く)		退院患者数	
54 全日本民医連	2020	再入院(30日) 30日以内の予定外再入院率	分母のうち前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数	※救急医療入院(3**)のみ	退院患者数	
55 全日本民医連	2020	退院後サマリー記載割合	A)退院後2週間以内の退院サマリー完成数 B)退院後7日以内の退院サマリー完成数		退院患者数	
56 全日本民医連	2020	職員満足度 友人や家族が病気や怪我を患ったときに、あなたの施設を薦めたいと思いますか?	分母のうち「強くそう思う」または「ややそう思う」と回答した職員数		職員満足度調査項目「友人や家族が病気や怪我を患ったときに、あなたの施設を薦めたいと思いますか?」の設問有効回答数	

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
57 全日本民医連	2020	入院患者満足度	A)分母のうち「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した入院患者数		A)入院患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数	
58 全日本民医連	2020	入院患者満足度	B)分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した入院患者数		B)入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数	
59 全日本民医連	2020	入院患者満足度	C)分母のうち「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した入院患者数		C)入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問有効回答数	
60 全日本民医連	2020	外来患者満足度	A)分母のうち「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した外来患者数		A)外来患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数	
61 全日本民医連	2020	外来患者満足度	B)分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した外来患者数		B)外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数	
62 全日本民医連	2020	外来患者満足度	C)分母のうち「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した外来患者数		C)外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問有効回答数	
63 地域医療機能推進機構	2019	出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療(止血術)の実施率	分母のうち、内視鏡的治療(止血術)が実施された患者数		出血性胃・十二指腸潰瘍の退院患者数	
64 地域医療機能推進機構	2019	安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導の実施率	分母のうち、「B0081 薬剤管理指導料、特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者に対して行う場合」が算定された患者数		特に安全管理が必要な医薬品として定められている医薬品のいずれかが投薬又は注射されている患者数	
65 地域医療機能推進機構	2019	75歳以上退院患者の入院中の予期せぬ骨折発症率	分母のうち、入院後に骨折と診断された患者数		75歳以上の退院患者数	
66 地域医療機能推進機構	2019	退院後の逆紹介率	家庭への退院または転院した症例		全退院症例	
67 地域医療機能推進機構	2019	高齢患者(75歳以上)における褥瘡対策の実施率	分母のうち、当該入院期間中に「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」が算定された症例数		入院時に褥瘡がある、あるいは褥瘡の危険因子がある75歳以上の退院症例数	
68 地域医療機能推進機構	2019	院内感染症疑い率	感染症らしき傷病を発症した症例数		全退院症例	
69 地域医療機能推進機構	2019	外科的及び内科的ケアによる合併症発生率	医原性疾患(外科的および内科的ケアの合併症)らしき症例		全退院症例	
70 地域医療機能推進機構	2019	肺炎の適正入院率	分母のうち、肺炎の重症度分類が中等症、重症、超重症の症例		肺炎の重症度分類が軽症、中等症、重症、超重症の症例	
71 日本病院会	2019	一般 患者満足度(入院患者) 満足	分母のうち「満足」と回答した入院患者数		入院患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数	
72 日本病院会	2019	一般 患者満足度(入院患者) 満足またはやや満足	分母のうち「満足」または「やや満足」と回答した入院患者数		入院患者への満足度調査項目「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問有効回答数	
73 日本病院会	2019	一般 入院患者の転倒・転落発生率	入院中の患者に発生した転倒・転落件数		入院患者延べ数	

団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
74 日本病院会	2019	一般 入院患者の転倒・転落による損傷発生率（損傷レベル2以上）	入院中の患者に発生した損傷レベル2以上の転倒・転落件数		入院患者延べ数	
75 日本病院会	2019	一般 入院患者の転倒・転落による損傷発生率（損傷レベル4以上）	入院中の患者に発生した損傷レベル4以上の転倒・転落件数		入院患者延べ数	
76 日本病院会	2019	一般 65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率	65歳以上の入院中の患者に発生した転倒・転落件数		65歳以上の入院患者延べ数	
77 日本病院会	2019	一般 褥瘡発生率	d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数		同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数	
78 日本病院会	2019	一般 尿道留置カテーテル使用率	尿道留置カテーテルが挿入されている患者延べ数	包含： 自院での挿入行為の有無にかかわらず尿道留置カテーテルが留置されている患者 除外： 恥骨上膀胱留置カテーテル コンドーム型カテーテル 間欠的な導尿目的のカテーテル挿入 洗浄目的で挿入された尿道留置カテーテル	入院患者延べ数	
79 日本病院会	2019	一般 症候性尿路感染症発生率	分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数		入院患者における延べ尿道留置カテーテル使用日数	
80 日本病院会	2019	一般 30日以内の予定外再入院率	前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数		退院患者数	
81 日本慢性期医療協会	2014	リハビリテーションを適切に行う体制が整っているか				
82 日本慢性期医療協会	2014	肺炎の新規発生率（肺炎治療目的の入院は除く。初発・再発は問わない）	1ヶ月あたりの肺炎新規発生患者数[人]		1日あたりの平均入院患者数[人]	
83 日本慢性期医療協会	2014	肺炎の治癒率	1ヶ月あたりの肺炎の治癒が確認された患者数[人]		1ヶ月あたりの肺炎の治療を実施した患者数[人]	
84 日本慢性期医療協会	2014	尿路感染症の新規発生率（尿路感染症治療目的の入院は除く。初発・再発は問わない）	1ヶ月あたりの尿路感染症新規発生患者数[人]		1日あたりの平均入院患者数[人]	
85 日本慢性期医療協会	2014	尿路感染症の治癒率	尿路感染症の治癒が確認された患者数[人]		尿路感染症の治療を実施した患者数[人]	
86 日本慢性期医療協会	2014	入院時、尿道カテーテルが留置されている患者の1ヶ月後の抜去率	1ヶ月後に尿道カテーテルが抜去されている患者数[人]		入院時尿道カテーテルが留置されていた患者数[人]	
87 日本慢性期医療協会	2014	必要な患者に対する体位変換は適切に行われているか				
88 日本慢性期医療協会	2014	新規褥瘡発生率	分母のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数[人]		調査月の新入院患者数+当日現在患者数[人]	
89 日本慢性期医療協会	2014	褥瘡の治癒率（治療後6ヶ月以内）	治癒患者数[人]		全褥瘡患者数[人]	
90 日本慢性期医療協会	2014	休日を含め適切な頻度でリハビリテーションが提供されているか	実施対象者における個別療法実施延べ日数※1 [日]		1日あたりの平均入院患者数 [人]	
91 日本慢性期医療協会	2014	十分な時間のリハビリテーションが提供されているか	測定月の実施総単位数※1 [単位]		延べ入院患者数※2 [人]	

	団体名	年度	指標名称	分子	分子基準	分母	分母基準
92	日本慢性期医療協会	2014	多職種(リハビリ以外の職種も含めて)によるカンファレンス等にて、リハビリテーションの内容、頻度が検討されているか	カンファレンス実施患者数※1[人]		対象患者数※2[人]	
93	日本慢性期医療協会	2014	FIM and/or BI等の客観的指標で患者のADL状態が把握されているか	1回以上の評価がされている患者数※1[人]		対象患者数※2[人]×100	
94	日本慢性期医療協会	2014	転倒・転落などによる重症事故(下記の定義)の発生率	転倒または転落などによる重症事故の1ヶ月間の患者数[人]		転倒または転落の1ヶ月間の患者数[人]	
95	労働者健康安全機構	2019	退院後6週間以内の緊急再入院率	退院後6週間以内に、前回入院時と同一傷病で緊急入院した患者数		退院患者数	
96	労働者健康安全機構	2019	患者満足度(入院)	入院満足度調査における「総合満足度」の項目に対して「大変満足」又は「やや満足」と回答した件数		入院満足度調査における全回答件数	
97	労働者健康安全機構	2019	職員のインフルエンザワクチン予防接種率	職員の自院でのインフルエンザワクチン予防接種者数		職員数(11月1日現在)	(分母除外項目) 院外でのインフルエンザ予防接種者、予防接種ができない者は職員数から除く
98	労働者健康安全機構	2019	新規褥瘡発生率	新規褥瘡発生患者数	・「DESIGN-Rでd2以上」又は「NPAUP分類でステージII以上」に該当する褥瘡が発生した患者を対象とし、いずれかの基準の区分ごとの患者数とする。 ・1名の患者が褥瘡を複数部位有していても、患者数は1名として数える。	新入院患者数	
99	労働者健康安全機構	2019	入院患者の転倒・転落発生率	入院中患者に発生した転倒・転落件数	転倒・転落の該当患者は、「労災病院医療上の事故等公表基準」におけるインシデント・アクシデントレベル3a以上に該当する者とする。	入院患者延数	
100	労働者健康安全機構	2019	手指消毒剤(擦式アルコール製剤)の実施回数(入院患者1人1人当たり手指消毒回数)	手指消毒剤(擦式アルコール製剤)の使用量		1回使用量(ml)÷入院患者延数	
101	労働者健康安全機構	2019	高齢(65歳以上)入院患者の入院中の骨折率	分母対象患者のうち入院中に骨折した患者数		3日以上入院した65歳以上の退院患者数	
102	労働者健康安全機構	2019	認定意見書作成日数	認定意見書作成延日数		認定意見書作成数	
103	労働者健康安全機構	2019	紹介率	開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された初診患者数+救急用自動車等での搬送患者数		初診患者数	
104	労働者健康安全機構	2019	逆紹介率	開設者と直接関係のない他の病院又は診療所への紹介患者数		初診患者数	